

6. 主な報道発表 (2025年4月3日以降)

4月3日

敦賀発電所2号機 洗たく廃液モニタタンクにおける腐食について (原因と対策)

▼詳細な内容はこちら



2025年2月3日お知らせ済みの標記件名について、タンク下部に腐食痕が発生した原因調査のため溶接線部に施工した保護塗装を確認したところ、保護塗装端部に腐食が発生する可能性がある微小なくぼみを確認しました。

タンク外表面に腐食痕が発生した原因は、2014年に発生した同様の事象の再発防止対策として保護塗装を部分的に施工したことで、塗装端部の微小なくぼみから腐食が発生・進行し、タンク外表面に進行したためと推定しました。

今回の事象を踏まえ、以下の対策を実施します。

- ・腐食痕を確認したタンク下部については、タンク内表面の保護塗装を剥がし、溶接線部の研磨除去および補修溶接を実施します。
- ・溶接線部の腐食が発生しないよう、定期的にタンク内の清掃および健全性の確認を行います。
- ・塩素を含む系統においてステンレス鋼に保護塗装を施工する場合は、隙間腐食の発生の可能性を考慮するよう社内規程に反映します。

げんでんふれあいギャラリー展示

◆PHOTO CLUB「宙」展 2025—自由 気ままに— 5月20日(火)～5月25日(日)

PHOTO CLUB「宙」(代表:木村 多恵子 様)の10名の皆さまによる写真作品展です。それぞれの思いを表現した作品を20点展示予定です。



お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 9:30～16:30 休館日 12月29日～1月3日



げんでんふれあいギャラリーのホームページはこちら

イベントブースのお知らせ

5月イベント出展情報 お誘いあわせのうえ、是非お越しください。

日時/イベント名	会場	内容
5月18日(日)9:30～15:00 第43回 親子のフェスティバル	きらめきみなと館とその周辺 (敦賀市桜町1-1とその周辺)	・工作(動物ダンボール貯金箱) ・放射線測定体験
5月25日(日)10:00～15:30 2025 さいばす さつきまつり	美浜町エネルギー環境教育体験館 「さいばす」 (美浜町丹生62-1)	・クリアランスベンチ展示 ・放射線測定体験 ・イライラ棒! 電車ドキドキ運転ゲーム! ・ドローンシミュレータと重機模型ロボット操作体験

げんでん LINE 公式アカウント=お友達登録をお願いします

当社では、LINE 公式アカウントの運用を2024年7月より始め、福井地区での当社イベント情報や敦賀発電所情報(以下①～⑤)などを発信しています。

是非、お友達登録をしていただき、最新情報をご覧ください。

①当社イベント情報、②広報紙、③放射線モニタリングデータ、④プレス公表情報、⑤敦賀原子力館案内

その他に、お友達登録の皆さまのお楽しみとして、スタンプカード(ショップカード)があります。

地域での当社イベントブースへの来場の他、敦賀原子力館、ふれあいギャラリー来場時に1ポイントを付与させていただきます。15ポイントでゴール到達となります。ゴール達成の方に特典を進呈いたします。



▲お友達登録(無料)はこちら

本資料のお問合せ先：日本原子力発電株式会社 (略称：げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部
TEL:0770-25-5713 住所：敦賀市本町2丁目9-16

2025年5月1日

No.249

げんでん いんふおめーしょん 5月号



敦賀発電所キャラクター げん丸

1. 敦賀発電所の状況 (2025年5月1日現在)

プラント(炉型)	状況
1号機 (沸騰水型)	<p>●2017年4月19日～廃止措置中 (廃止措置期間：24年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2015年4月 営業運転終了 ○第6回定期事業者検査中 (検査期間を変更しました) 2024年3月27日～未定※ (変更前 2025年5月中旬) ※検査対象機器に不具合があり、補修に必要な交換部品の調達に時間を要するため。 ○建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事 (2024年10月1日～) ○軽油貯蔵タンク他解体工事 (2025年4月21日～) <p>廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。</p>
2号機 (加圧水型)	<p>電気出力 116.0万 kW, 1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量 1923.0億 kWh</p> <p>●2011年8月29日～第18回定期検査中</p> <p>敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の申請に向けた追加調査計画について</p> <p>当社は、敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の申請に向け、至近で行う追加調査計画については、2025年3月末を目途に取りまとめを進めてまいりましたが、調査内容に万全を期すため、追加調査計画の検討を継続することとしました。追加調査計画がまとまり次第、地域の皆さま、関係者の皆さまへお知らせいたします。</p> <p>当社としましては、引き続き敦賀発電所2号機の再申請、稼働に向けて取り組んでまいります。</p> <p>(2025年3月31日 当社ホームページでお知らせ済み)</p>

2. 敦賀発電所3,4号機準備工事の状況 (2025年5月1日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続しています。

敦賀発電所3,4号機計画については、地域の皆さまから大きな期待を寄せられていると承知しており、こうした期待に応えるべく、引き続き国のエネルギー政策や安全規制に係る状況などを踏まえながら、実現に向けた取り組みを継続してまいります。



建設予定地の状況 (2025年4月21日撮影)

3. トピックス

2025 年度 敦賀発電所入所式を実施 ～新入社員を迎えて～

4月1日、当社本店において2025年度の入社式が行われ、40名が新たに『げんでん社員』として一步を踏み出し、その後、東海総合研修センターでの新入社員研修に参加しました。

新入社員研修では、“学生から社会人への円滑な移行を行うための素養を身につけること”、“業務を遂行していく上での基礎となる知識の習得”を目的に、ビジネスマナーやエネルギー・原子力発電などの基本的な知識の習得、および現場作業に潜む危険を疑似体験することで安全意識と危険回避能力を育む安全体感教育などの実習を行いました。

2週間の研修を終えた4月15日には、敦賀発電所に7名の新入社員を迎え、敦賀発電所入所式が行われました。寺谷敦賀発電所長から「①安全最優先、②何事にも積極的に取り組み、高みを目指すこと、③コミュニケーションを十分に取ることの3点について心に刻んで業務に励んでほしい」との激励を受けた後、新入社員一人ひとりが力強く抱負を述べました。

新入社員は今後、安全第一で働くための基礎知識や法令・規則に関する教育の受講、および配属先で実務を通して発電所の運転、設備保守、放射線管理等を学び、敦賀発電所の一員として、緊張感を持って取り組んでまいります。

【東海総合研修センター】



ビジネスマナー研修の様子



安全体感教育の様子

【敦賀発電所】



敦賀発電所入所式の様子

4. 2024 年度「福井公募研究」の採択結果について

当社で毎年度実施している「福井公募研究」についてお知らせします。

福井公募研究は、福井県の嶺南Eコースト計画における多様な地域産業の育成に係る当社施策の一環として、地元企業等[※]が持つ優れた技術や発想等を活用して発電所の運用改善を図るとともに、本研究活動を通じた県内企業等の技術力の向上、研究活動の活性化などを目的に実施しているものです。

2024年度も研究提案を募集し、応募いただいた研究提案について、社内で実用性や研究要素などを総合的に評価・審査を行い、以下の2件を採択しました。

採択した研究提案は契約手続き完了後、1年間程度を目途に研究を実施していただきます。

[※]地元企業等とは、福井県内に本社若しくは事業所を有する企業、または福井県内の大学・高専、研究機関をいう。

2024 年度「福井公募研究」採択結果

	研究提案件名	提案企業	所在地
1	「熱交換器伝熱管の縦割り切断減容化処理の効率化に関する研究」	若狭原子力技術シニア コンサルティング 株式会社	敦賀市
2	「原子炉廃止措置で発生する多種多量の廃棄物に対するレーザー除染技術の実用化に関する研究 省力化・自動化レーザー除染装置の開発」	LDD 株式会社	敦賀市

5. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ



敦賀総合研修センターの
ホームページはこちら

敦賀総合研修センターでは、2025年度30コースの公開研修開催を予定しており、以下はお申込み期間近となっている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細内容、応募方法ならびに受講料につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/>

研修名	研修概要	研修期間	申込み期限
根本原因分析手法コース	事故やトラブルの原因分析に使われるS A F E R (Systematic Approach For Error Reduction)を理解し、問題の根本的な原因を明らかにする手法を学びます。 本コースで学ぶ手法は原子力産業の現場だけでなく、一般産業のあらゆる場面でも活用できます。	6月25日(午後) ～ 6月26日 (1.5日間)	5月16日
確率論的リスク評価コース	原子力発電所における、様々な事故の発生頻度を確率論的に求め、そのリスクを評価します。この研修では、確率論的リスク評価(PRA)の基礎知識や具体的な評価手法を学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	7月1日 ～ 7月2日 (2日間)	5月22日
プラントシミュレータコース	原子力発電教育シミュレータを用いて、加圧水型軽水炉(PWR)と沸騰水型軽水炉(BWR)を比較しながらプラント起動操作や原子炉出力変更などの運転操作を模擬体験するとともに、原子力発電所の安全確保の仕組みを学びます。 2日間のコースですが、1日単位の受講も可能です。	7月2日 【PWR編】 ～ 7月3日 【BWR編】 (2日間)	5月23日
労働安全衛生コース	従業員や作業員を災害から守るために労働安全衛生法の基礎知識および安全管理の手法の一つである労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)について学びます。また、現場作業の危険性を疑似体験することにより安全意識の向上を目指します。 本コースは原子力発電所の作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	7月7日 ～ 7月8日 (2日間)	5月28日
耐震安全コース	耐震設計の基礎(概論、地震動、新規基準など)、原子力発電所の建築、土木構造物の耐震設計およびポンプ・容器・配管並びに電気盤などの耐震設計を学びます。 なお、受講者は地震・耐震に関する基礎的な知識を有していることが望ましい。	7月9日 ～ 7月10日 (2日間)	5月30日
原子燃料コース	原子力発電において使用される原子燃料について、ウラン鉱石の採鉱から使用後の処理、処分までの原子燃料サイクルとともに、原子燃料の取扱上、重要な保障措置や使用済燃料の輸送・貯蔵について学びます。	7月10日 (1日間)	5月30日
原子力新技術コース	世界の原子力情勢と今後の展望、次世代炉の開発動向などについて学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電の知識を有していることが望ましい。	7月11日 (1日間)	5月30日
原子力安全基礎コース	原子力発電所に関する最新の規制体系、基準を理解するとともに、安全確保の仕組み(安全設計)や事故・トラブル時の評価(安全評価)および過酷事故時の対策など、原子力の安全に係る事項を学びます。 1.5日間のコース(1日目:基礎、2日目(午前):過酷事故対策)ですが、どちらかの日だけの受講も可能です。	7月15日 ～ 7月16日(午前) (1.5日間)	6月5日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター(敦賀市香見165号9番地6)
電話:0770-21-9700 FAX:0770-21-9726(研修申込み専用)
メールアドレス:tsuruga-tr-center@japc.co.jp

